

2021年 3月 31日

新宿区長 宛て

団体名 一般社団法人Global Healthcare Hub  
 所在地 東京都文京区白山4丁目21番6号  
 (フリガナ) シャ ケイコウ  
 代表者氏名 理事長 謝 継香 印

新宿区協働推進基金助成金事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第12条の規定により、下記のとおり報告します。

		記	
1 収支計算額	収入	824942	円
	(内助成金)	500000	円
	支出	824942	円

2 助成事業

事業名	在日外国人向「介護の日本語」教室
実施の日時又は期間	令和3年11月～令和4年3月
対象者の範囲及び人数	外国人介護従業員、介護の仕事に興味がある外国人
事業内容	<p>「介護の日本語教室」を開催し、介護施設に就労する外国人の日本語学習の場を確保します。介護の日本語の勉強を通じて、外国人介護人材である参加者の日本語能力を向上させ、介護のスキルを高めることを目的とします。</p> <p>また、教室の参加者を中心とした「外国人介護人材交流会」を開催し、外国人介護人材のコミュニティを作ることを目指します。</p> <p>さらに、介護の日本語の教育に有益な内容の記事をオンラインで発信し、今外国人人材の受け入れを検討しているが、介護の日本語教育にノウハウがない介護施設の参考になることを図ります。</p>

具体的な活動状況

- ・「介護の日本語教室」開催（16回） 参加者 延べ51名  
日時：毎月第1～第3木曜日（1月は毎週木曜日） 夜19時から21時まで  
場所：オンライン（ZOOM会議）  
講師：大塩 しのぶ（明新日本語学校非常勤講師、介護職員初任者研修修了）  
サポート役（ボランティア）：呂曉慶（中国出身の介護福祉士）  
テーマと内容：毎回はテーマの単語や漢字の習得から始まり、それを基づいた現場の声かけや記録の方法の勉強に進んだ後、参加者が実際の練習問題を解いてみます。最後には、現場の仕事についてお話しします。  

11月4日	日本の社会と介護現場事情	参加者 11人
11月11日	介護現場 施設の人	参加者 3人
11月18日	介護現場 施設	参加者 3人
12月2日	三大介助	参加者 3人
12月9日	整容	参加者 3人
12月16日	口腔ケア	参加者 1人
1月6日	話し言葉から書き言葉	参加者 2人
1月13日	歩行	参加者 4人
1月20日	移乗	参加者 4人
1月27日	食事	参加者 3人
2月3日	利用者とのコミュニケーション	参加者 1人
2月10日	排泄	参加者 2人
2月17日	入浴	参加者 3人
3月3日	利用者とのコミュニケーション	参加者 2人
3月10日	声かけ・介護記録	参加者 4人
3月17日	申し送り	参加者 2人
- ・「外国人介護人材交流会」開催（1回） 参加者 4名  
日時：3月24日（木） 夜19時から21時まで  
場所：オンライン（ZOOM会議）  
内容：参加者が母国語で介護の仕事、日本の生活、日本語の勉強についてお話しします。日本で介護の仕事に従事しているボランティア2名にそれぞれの勤務先や仕事内容についてお話を聞きます。
- ・介護の日本語に有益な記事の掲載 14本  
場所：団体のホームページにて  
内容：介護の日本語支援、介護の日本語の教材の紹介、介護の日本語支援、「介護の日本語教室」講座内容のまとめ  
執筆者：宮崎 里司（早稲田大学日本語教育研究科教授）  
岡田 朋美（早稲田大学日本語教育研究センターインストラクター）  
栃木 亜寿香（介護日本語教師）  
滝島 由紀（介護日本語教師）  
大塩 しのぶ（明新日本語学校非常勤講師、チーム宮崎メンバー、介護職員初任者研修修了）

事業の成果

本事業はコロナ中外国人の入国が認められていない時期に実施され、初期段階で区内の参加者を集めることができない困難に直面し、予定より4か月ほど遅れて1回目の授業が行われました。また、区以外の方でも参加できるように、参加対象の条件を緩和し、宣伝を行いました。

初授業では区外・国外を含む11名の参加者がオンライン教室に來りましたが、「毎回参加するのは難しい」等の理由でやめる参加者も多かったです。結果として、1回の授業に平均3名の参加者、そのうち一人が毎回参加してくれました。また、定着した参加者はN3レベル以上の日本語能力を持っている方が多いため、事業計画当初想定されたクラス分けを行いませんでした。

参加者の構成としては、実際に日本で介護に従事している参加者は一人だけ、介護職以外の方は多数となっております。参加者数が少ないですが、アンケート結果においては満足度が高く、「大変勉強になりました」、「また授業を引き続き参加したい」、「仕事の振り返りができました」等の声もありました。但し、オンライン授業が一方通行になりやすいと感じ、実際にも授業の雰囲気に対する満足度が比較的低い(85%)ため、今後の教室は対面授業が望ましいです。

交流会については、教室への参加者が少なかったことと、遠距離の参加者が多かったため、3回予定されていた介護人材交流会は最終的にオンライン形式で1回しか開催できませんでした。また、介護職でない方が多いと考え、交流会は司会がボランティアのお二人にインタビューするという形になりました。参加者に「参加者は少ないのが残念ですが、今後のイベントを期待しています」、「有益な話を伺えました」と評価され、満足度も高い(95%)です。

事後アンケートの結果から参加理由を見ると、全員が「介護知識を増やしたいから」を選び、「日本語能力を高めたいから」を選んだのは半数でした。この結果は、介護施設に就労する外国人の日本語学習の場という本来の目的から少し外れていますが、介護に興味がある外国人は多いことが判明し、授業で専門的な介護知識が教えられることも質が高い外国人介護人材の確保に繋がりました。区に所在する早稲田大学日本語教育研究科の教授とそのチームメンバーの方々が執筆した介護の日本語に有益な記事も、現在弊団体のホームページにて掲載され、1記事あたり平均50回以上の閲覧数が達成しました。今後より多くの区内外の介護施設が外国人従業員の日本語教育を行う際の参考になることが期待できます。

また、教室のサポート役を設置することから、少なくとも唯一の介護職の参加者は現場で働く人しか理解できない業界の話ができました。介護職の参加者をさらに増やす、外国人介護人材のコミュニティを拡大することは今後の課題となります。

一般事業収支決算書

費 目		決算額	内 訳
支 出 区 分	①使用料及び賃借料	0 円	
	②印刷製本費	17,012 円	DM 代行 (チラシ印刷+発送サービス) はがき A4 サイズ両面カラー 116 通 16802 円 コピー代 210 円
	③消耗品費	1,068 円	ノート、封筒、クリアファイル、筆記用具等文具 1,068 円
	④委託費	202800 円	テレアポ代行費 105.6 円*500 コール=52800 円 記事作成執筆費 5000 円*14 本+7500 円*2 本=85000 円 デザイン費 A4 両面 25000 円*2 回=50000 円 交流会ポスター 15000 円
	⑤講師謝礼	96000 円	3000 円*2 時間*16 回=96000 円
	⑥その他謝礼	72000 円	ボランティア謝礼 教室 2000 円*2 時間*16 回=64000 円 交流会 2000 円*2 時間*2 人=8000 円
	⑦交通費	0 円	
	⑧保険料	0 円	
	⑨その他諸経費	14,762 円	ZOOM プロ使用料金 2200 円*6 月=13200 円 郵便切手等 1,562 円
	⑩新型コロナウイルス 感染症対策経費	0 円	
	⑪人件費	100,910 円	1050 円×97 時間+1050 円×149 時間=258300 円 うち 157,390 円は助成対象外経費へ
事業費 (①から⑪の合計)		504,552 円	
⑫ファンドレイジングに関する経費		0 円	
⑬助成対象経費 (事業費+⑫)		504,552 円	
余剰金 (A)		163,000 円	
⑭助成対象外経費		157,390 円	
事業総額		824,942 円	
内 容		決算額	内 訳
㊦事業収入 (参加費、資料代等)		0 円	
㊧寄附金		0 円	
㊨補助金収入		0 円	
㊩協働推進基金助成金交付額		500,000 円	
㊪団体負担金		324,942 円	

	収入総額	824,942 円
	余剰金 ( B )	0 円
	返 還 金	163,000 円

## 一般事業自己評価表

※事業実施における成果や実施にあたっての課題を記載してください。

評価のポイント	自己評価
事業計画及びスケジュールに沿って事業を実施できたか。	<p>参加者の募集が順調ではなかったため、一回目の教室の開催は当初の予定から大幅に遅れていた。足りない回数を補うため、教室の終了を予定より1ヶ月遅らせ、1月から月ごとの授業回数も増加したが、講師の都合より2月と3月に欠講の回数が生じた。代行の講師を立てる必要性を感じられた。</p> <p>交流会に関しては、教室への参加者の不足などにより予定だった3回を開催できなかったが、実施した回は概ね順調だった。</p>
実施にあたって、必要な人員体制がとられたか。安全確保がなされたか。	<p>各回とも、講師のほか、ボランティア1名も携わり、出席の確認や授業のサポートを担当させ、授業をより円滑に進めることができた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、すべての事業内容はオンラインで実施することにより安全面の確保が十分だった。</p>
事業を通じて、多くの区民の社会貢献活動の啓発に役立つものとなったか。	<p>本事業は、区内の大学教授と講師が記事を執筆して頂くことが社会貢献活動の啓発につながった。</p> <p>また、「新宿ソダチ」等の区内広報を通じて、新宿区内の介護施設や区民に外国人向けの介護の日本語教育を提供している場があるという周知ができた、今後より多くの区民の参加者が期待される。</p>
地域課題や社会的課題に対してどのような成果や効果があったか。今後、見込まれる効果はどのようなものか。	<p>無料のオンライン講座を開催することで、地域を問わず参加者を募集することができ、介護人材の確保という社会的課題に貢献した。参加者は専門的知識を勉強することで、能力向上を図った。現在ホームページで掲載されている記事は今後より広く知らされ、介護分野で働く外国人従業員の日本語能力向上につながることを期待できる。</p> <p>また、これまで繋がりが少ない、仕事場以外の友達作りが難しい外国人介護従事者のコミュニティを作ることができた。定着した介護職の参加者から「業界の人とお話ができ、うれしい」という声が寄せられた。</p>
団体の先駆性や専門性を活かすことができたか。	<p>過去のオンラインイベント開催より積んできた豊富な経験を活かし、良いオンライン授業環境の整備ができた。招いたボランティアは現場で4年以上働いていた介護福祉士により、参加者が日本語のほか、専門的介護知識を学ぶことができた。</p>

<p>経費見積りは適正だったか。</p>	<p>開催回数が減ったことや他の宣伝方法を試したこと等から、予定していたものと異なった。今後はより詳細な計画を立て、参加者の確保に努める。</p>
<p>(今回の事業を次年度以降も継続していく場合) 継続性や発展性が期待できるものとなったか。資金確保に努めたか。</p>	<p>本事業は参加者から好評が寄せられ、今後も継続的实施していきたい。今年度の参加者数は少ないが、広報により区内外の施設への周知ができ、参加者の確保にもつながった。また、資金確保のために、介護企業や日本語学校とともに事業を展開することも検討していく。</p> <p>但し、オンライン授業は参加者間の繋がりが深まりにくい為、今後対面授業の形式が望ましい。</p>
<p>事業の実施にあたって、課題や問題点はあったか。どのような対策が考えられるか。</p>	<p>本事業は参加者不足で計画に遅れが出る、様々な要望に対して対応しかねるところもあった。今後事業をより円滑に進められるよう、より効果がある宣伝方法を見極めることと、スタッフ人員の拡充や団体の体制整備が重要な課題である。</p>

● 授業風景



# 介護食

一口大食

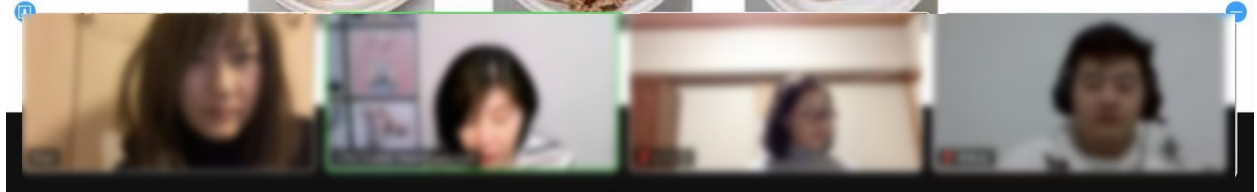
減塩食 減脂食

常食 刻み食 小刻み食 極小刻み食 ペースト食 ソフト食



嚥下咀嚼が難しい

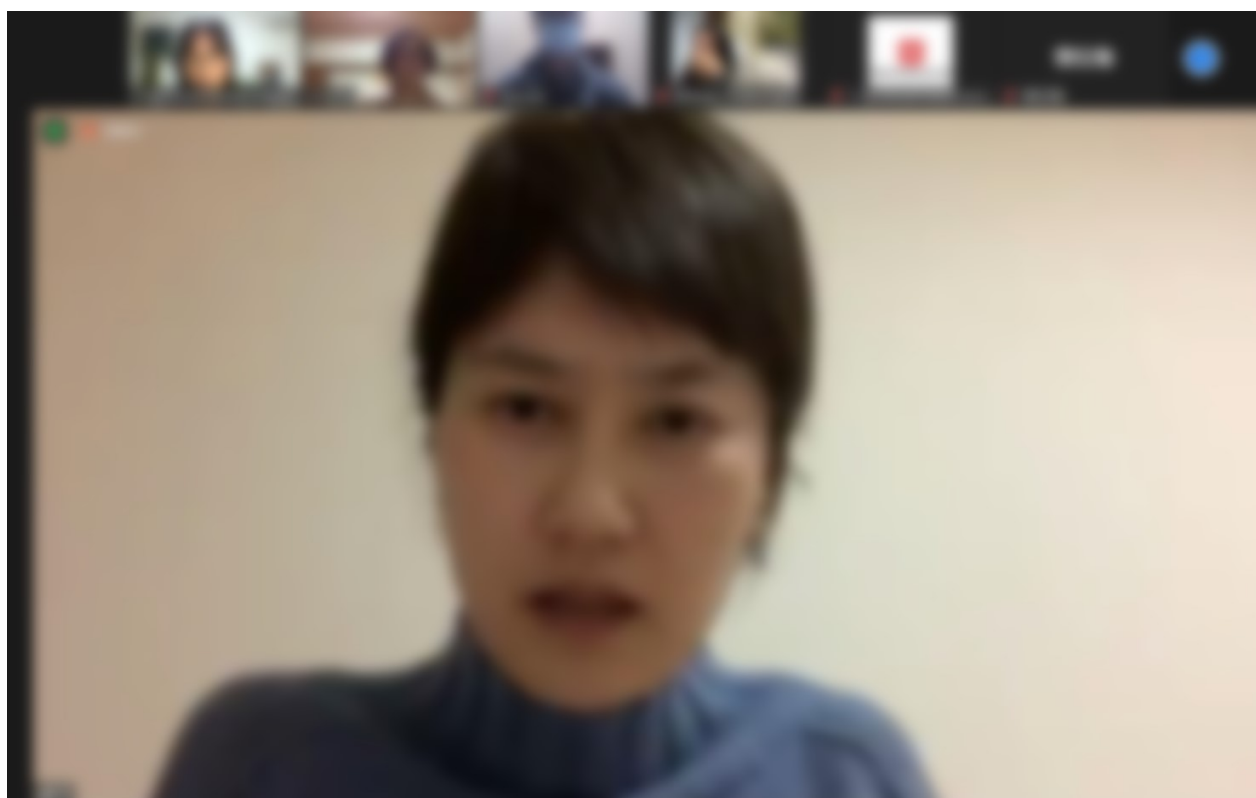
嚥下咀嚼が易しい







- 交流会でボランティアによる介護現場の話



● 当団体のホームページに掲載されている記事

Global Healthcare Hub

Home | 事業内容 | 介護の日本語教室 | 最新情報 | GHHについて | ご協力団体

記事 講座内容 現在位置: Home > 介護の日本語教室

- 外国人介護従業員の日本語教育に悩む方々へ  
2022-03-28 介護の日本語教室
- 外国人介護従事者のための日本語支援について  
2022-03-31 記事
- 「介護の日本語教室」講座内容まとめ⑪ ~ 申し送り & 介護記録 ~  
2022-03-31 講座内容
- 「介護の日本語教室」講座内容まとめ⑩ ~ 利用者とのコミュニケーション ~  
2022-03-31 講座内容
- 「介護の日本語教室」講座内容まとめ⑨ ~ オノマトペ ~  
2022-03-31 講座内容
- 「介護の日本語教室」講座内容まとめ⑧ ~ 体位交換 ~  
2022-03-31 講座内容

計 17 条 前のページ 1 2 3 次のページ

● チラシ（介護の日本語教室、中国人人材交流会（デジタル・中国語）、事業宣伝）

令和3年度新宿区協働推進基金一般事業助成事業

外国人のための  
介護の日本語教室

いつでも参加歓迎

2021年11月から  
2022年3月まで

第1～第3木曜日 Thursday  
19時から21時まで

場所: オンライン開催  
Where Online

**対象者** Who  
外国人介護従業員の方もしくは介護の仕事に興味がある外国籍の方  
Foreign care workers or foreigners who are interested in care work

**申込み** Application  
名前、年齢、市区町村、電話番号、メールアドレス、施設名（在勤の方の場合）を記入のうえメールもしくはWEB申込フォームを入力  
<https://bit.ly/2VCa60F>  
Please send your name, age, city, phone number, email address, and the company's name (if you work) by email or scan the QR code on the left.

**受講費** Fee  
無料 (Free)

問い合わせ  
一般社団法人Global Healthcare Hub (略称GHH)  
Mail: info@ghh.jp Tel: 03 (4362) 5526  
www.ghh.jp

～介護の現場で使う日本語を学びませんか～  
\*の月は別途交流会が開催されます

月	日	テーマ
11月 Nov.	4, 11, 18	自己紹介(Self introduction) 日本の介護現場事情 (Care situations)
12月 Dec.*	2, 9, 16	整容(Keeping clean) 口腔ケア(Oral care)
1月 Jan.	6, 13, 20	歩行(Walking) 移動移乗(Lifting&Transferring) 食事(Mealtimes)
2月 Feb.	3, 10, 17	排泄(Toilet needs) 入浴(Bathing)
3月 Mar.*	3, 10, 17	申し送り(Message) 介護記録(Recording)

大塩（おおしお）しのぶ  
明新日本語学校 非常勤講師  
早稲田大学大学院日本語教育研究科  
宮崎チームメンバー  
介護職員初任者研修修了  
呂 曉慶（ろぎょうけい）  
中国出身の介護福祉士

外国人介護職への日本語教育法  
「介護現場の教育担当者が日本語の教え方を学ぶ上で目からウロコの内容です。」  
「フセタバンドスケール」(介護版) も使う!

問い合わせ  
一般社団法人Global Healthcare Hub (略称GHH)  
Mail: info@ghh.jp Tel: 03 (4362) 5526  
www.ghh.jp



# 介護の日本語教室 線上交流会

环节1 // 在日介護工作者讲述TA们的工作日常  
环节2 // 分组自由交流・提问

2022年3月24日(木)  
日本時間: 19:00~21:00  
北京时间: 18:00~20:00



↑ 扫码添加活动负责人 ↓



Global Healthcare Hub

## 外国人介護従業員の日本語教育 に悩む方々へ～

介護現場で外国人職員を採用している・今後採用したい、  
でも日本語教育のノウハウがない事業所の不安を解消するために、  
GHHでは、様々な活動を行っております。

一口大食  
常食 刻み食 小刻み食 極小刻み1

場下現場が難しい



2021.11  
～2022.3

### 介護の日本語教室

**日時** 毎週木曜日 19時～21時  
**場所** オンライン (ZOOM)  
**料金** 無料  
**講師** 大塚 しゆぶ (日本語学校非  
常勤講師、介護職員初任者研修修  
了) & 呂 晓慶 (介護福祉士)  
※今年度の講座は終了しました

### 中国人介護人材交流会

**日時** 3月24日(木) 19時～  
**場所** オンライン (ZOOM)  
**内容** 母国語で仕事・生活・日  
本語の勉強を相談する



**最新** HPIにて介護の日本語教育に  
有益な記事大量掲載中

問い合わせ 一般社団法人Global Healthcare Hub (略称GHH)  
Mail: jimukyoku@ghh.jp HP: www.ghh.jp Global Healthcare Hub

## 有益なウェブ記事

**場所** GHHのHPにて掲載  
(右側のQRコードからアクセス)  
**執筆者** 宮崎里司 (早稲田大学大学院  
日本語教育研究科教授) 等



GHH

### 介護現場で耳にする日本語 —排泄に関する言葉から—

岡田 朋美: 早稲田大学日本語教育研究センター インストラクター

……

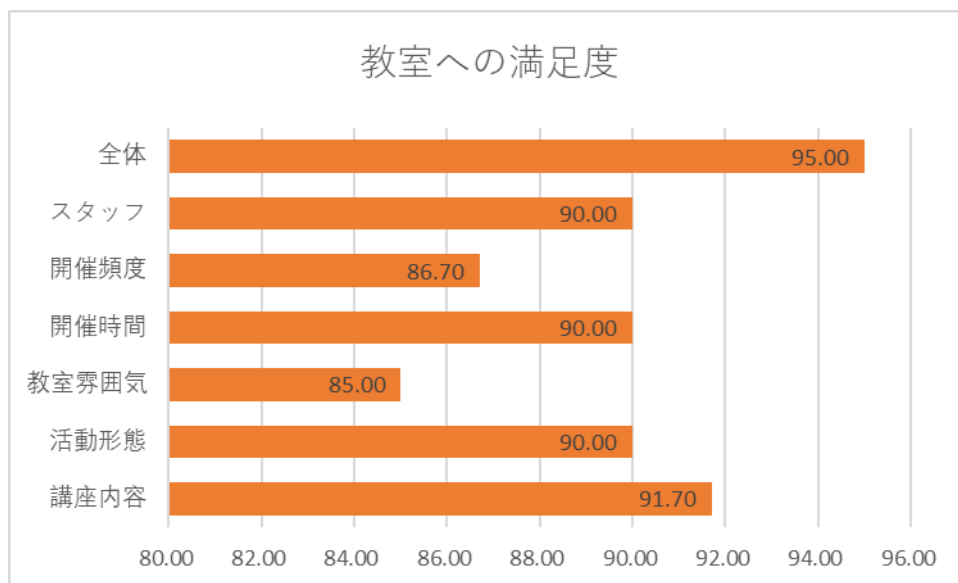
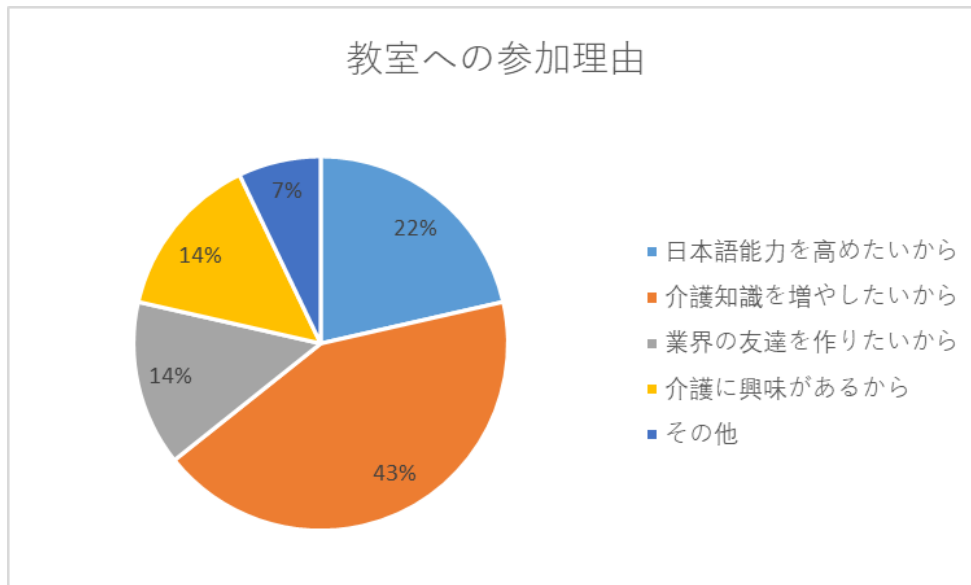
排泄の介護の場合、「トイレ」に関する言葉もいろいろある。「トイレに行きた  
い」と言われれば、理解できるとしても、「便所」と言われたのでは理解できな  
いこともあるだろう。他にも、介護現場で耳にする可能性があるのが、「化粧  
室」「手洗い」である。これらは、丁寧さを表す「お」をつけて、「お便所」「お  
化粧室」「お手洗い」と言うことができる。しかし、「洗面所」の場合、「お」を  
つけて言うことはできない。……

(続きを読みたいならHPへ)

問い合わせ 一般社団法人Global Healthcare Hub (略称GHH)  
Mail: jimukyoku@ghh.jp HP: www.ghh.jp Global Healthcare Hub

## 【アンケート結果】

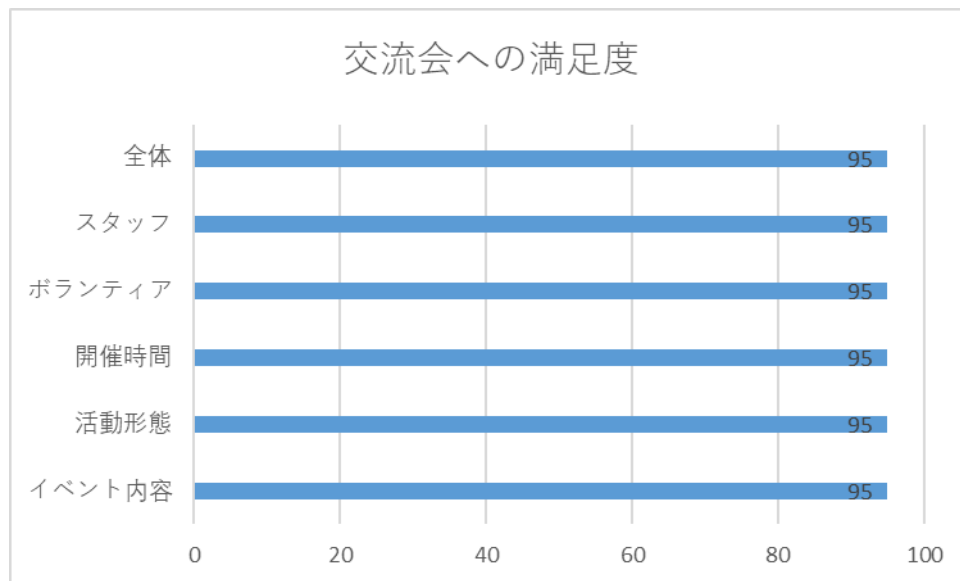
- 介護の日本語教室（回答数：6人、国籍：中国 100%）



### 「ご意見・ご感想等」

- ◇ 介護業界や介護の仕事に関する情報をもっと発信して欲しい
- ◇ 中国語字幕付きの再放送を希望します。
- ◇ 講座を引き続き参加したい、日本の介護施設の運営状況を知りたいです。機会があれば、見学してみたいと思っています。

● 外国人介護人材交流会（回答数：2人）



「ご意見・ご感想等」

☆ 宣伝不足で参加者が少ない。今後のイベントを期待しています。